

令和２年度 第８回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和２年11月９日（金）	教 育 長 坂 元 裕 人	教育総務課長 鹿 屋 勉
午後２時３０分	教 育 委 員 田 原 正 人	学校教育課長 今 井 誠
↓		
午後４時３０分	教 育 委 員 葛 迫 幸 平	社会教育課長 紺 屋 昭 男
第２研修室	教 育 委 員 田之上 厚美	国体推進課長 米 田 昭 嗣
	教 育 委 員 福 里 由 加	

会 議 要 旨

１ 開 会

定刻、定足数に達しており、令和２年度第８回教育委員会定例会を開会した。

議案第16号、議案第17号及び議案第18号は、教育長から、非公開で審議する旨の発議があり全会一致で議決された。

２ 令和２年度第７回定例会会議録の承認

承認

３ 議 事

報告第 32 号 令和２年度垂水市一般会計補正予算（第 9 号）案についての市長への
意見申出について

報告第 33 号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について

議案第 16 号 令和２年度社会教育功労者の決定について

議案第 17 号 垂水市教育支援委員会の答申について

議案第 18 号 垂水市小規模校入学特別認可制度実施要綱の制定について

４ その他

５ 委員並びに教育長及び課長報告

６ 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第32号 令和2年度垂水市一般会計補正予算（第9号）案についての市長への意見申出について	令和2年度垂水市一般会計補正予算（第9号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第33号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について	垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、欠員1名を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 令和4年3月31日	特記事項なし	
議案第16号 令和2年度社会教育功労者の決定について	垂水市社会教育関係表彰規程に基づき、令和2年度社会教育功労者を決定するものである。	特記事項なし	承認
議案第17号 垂水市教育支援委員会の答申について	垂水市教育支援委員会の答申を受けて、児童生徒の望ましい措置を決定しようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第18号 垂水市小規模校入学特別認可制度実施要綱の制定について	学校教育法施行令第8条の規定に基づき、指定された通学区域外の児童の転入学を特別に認める特認校制度の実施に関し、必要な事項を規定する実施要綱を制定するものである。 (施行日) 令和2年12月1日 (対象校) 垂水市立境小学校	特記事項なし	承認

議 事 内 容 等

3 議 事	
	報告第 32 号 令和 2 年度垂水市一般会計補正予算（第 9 号）案についての市長への意見申出について
教育総務課長	補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したことを報告するとともに、その内容（学校保健特別対策事業補助金及び新型コロナ対応地方創生臨時交付金によるセンサー付き水道蛇口、デジタル教科書、液晶ディスプレイ及びドーム型高精度サーマルカメラの購入並びに学校給食への地元産黒毛和牛提供等に要する補正）について説明。
田原委員	デジタル教科書は、何の教科になるのか。
学校教育課長	学校、学年によってさまざまであるが、主に国語、算数である。
田原委員	文化会館費で整備する「ドーム型高精度サーマルカメラ」とはどのようなものか。
社会教育課長	文化会館でイベントを開催する際、会場の入り口に設置し入場者などの体温を測るためのもので、今まで職員が非接触型体温計で一人一人測っていたものが、同時に最大 20 人測ることができるようになり、業務の効率化と入場時間の短縮が図れるものである。 可動型なので、体育館やキララドームなど文化会館以外の施設での使用もできる。市主催のイベントに限らず、市の施設で開催する幼稚園などの主催行事に貸し出すことも考えている。年内の納品予定である。
葛迫委員	サーマルカメラを導入し、入場者の熱を測ることは大事なことであるが、発熱がある人がいた場合の対処法というのは考えているのか。
国体推進課長	市主催のイベントの場合、救護班として市の保健師を配置している。発熱があった場合、救護班で判断して病院受診を勧めるなどの対応を行っている。
田之上委員	学校給食食材費臨時支援金とはどのような内容か。
学校教育課長	地元畜産農家が生産する黒毛和牛の牛肉を、ステーキやすき焼きなどにして学校給食で提供するための費用である。新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用するもので、地元畜産業支援の狙いもある。子どもたちに喜んでもらえるものと期待している。
	報告第33号
社会教育課長	垂水市青少年育成指導委員の委嘱について 本年 4 月以降欠員であった垂水市青少年育成指導委員 1 名の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容

	を説明。 (質疑なし) 議案第16号 令和2年度社会教育功労者の決定について (非公開) (議案第16号 承認) 議案第17号 垂水市教育支援委員会の答申について (非公開) (議案第17号 承認) 議案第18号 垂水市小規模校入学特別認可制度実施要綱の制定について (非公開) (議案第18号 承認)
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田原委員	10月22日 水之上小学校研究公開（国語）について コロナ禍を考慮して、研究発表も研究授業も体育館で実施された。研究授業は4年生の1クラスだけであった。参観者にとっては移動がなく助かったが、子どもたちにとって慣れない体育館での授業は精神的な不安があるだろうと思って観ていたが、子どもたちは意外と平気で先生の方がかなり緊張していた。先生の緊張を感じ取ったのか、子どもたちがよく活動し発表して、先生を助けている感じであった。 「説明文の読解」という内容で、かなり高度な内容であったが、単元のねらいや本時の目標を子どもたちがしっかり理解していたので、先生の発問に対して模範的な答えがどんどん出て、とても効率よく進んで5分くらい早く終わってしまい、研究授業では珍しい状況となった。授業の途中、

葛迫委員	「ここではどんな揺さぶりが出てくるのだろうか。」と期待していたが、終末がやや単調になってしまったのがもったいなかった。 研究公開までの過程では、いろいろな研究を全校体制で取り組んでいたようで、授業者だけでなく職員全体が一步前進できたのではないかと思ったところである。子どもたちが充実した顔をしていたのも印象的であった。 「鹿児島の教育 県民週間」について 11月4日（水）に水之上小学校と垂水中央中学校を参観した。 水之上小学校では、4年生全員がパソコンを使ってリーフレット作りに挑戦していた。先日（10月22日）に研究授業をやっていたクラスであったが、リーフレットを作成するという最終目標のために、国語の勉強を頑張っていたのだと分かり納得した。中にはパソコン操作の遅い子どもがいて、配慮の必要性を感じる場所もあったが、ほとんどの子どもが抵抗なくパソコンを使いこなしていることに感心した。 学校全体の教室や廊下に学習の成果を示す作品がずらりと展示されていて壮観であった。私の他にも授業を参観する保護者の姿がかなり多く見られ、教育県民週間っていいなと思った。 垂水中央中学校では全学年回ったが、学年ごとに特色があり面白かった。 1年生の国語の授業は、元気に伸び伸びと発言し活発であった。2年生の音楽の授業は、座っていても背筋をピンと伸ばして先生の話を聞いている姿が見られ、いいなと思った。3年生は、プロジェクターを使った社会科の授業だったが、廊下を歩く雑音さえ入れたくないくらいの雰囲気、静かではあるが生徒一人一人が授業に集中している姿が見られた。 県民週間も特別な機会でなく、いつもと変わらない普通の姿を見せてくれていると感じた。 たるみずジュニア美術展について コロナ禍のために中止となった「和田英作・和田香苗記念絵画コンクール」の代わりに開催した「たるみずジュニア美術展」について、今年が初めての開催なのでその報告をさせていただきたい。 10月17日（土）と18日（日）に、県内の小中学生を対象とした垂水街角美術館スケッチ大会を森の駅たるみずで開催したが、その時の講師、西口純一先生と、鶴田公人先生のお二人に加わっていただき、10月18日（日）に、たるみずジュニア美術展の審査を行った。今年は「ワダコン」が中止になり、未就学児の作品や中学生の作品が少なかった。 園児の作品は、園ごとに同じような作品が多く作品の共通性が感じられたので、もっと園児の独自性を期待したい。小学校低学年については、園ごとの共通性から解き放たれた自由な発想の作品が目立っていた。そして、高学年になるとその自由な発想がなくなり、概念的になって描かれてくるといった感じだった。 出品点数245点の中から受賞作品30点を10月26日（月）に垂水市文化会館に展示した。また、垂水街角美術館スケッチ大会の受賞作品24点を合わせた54点を10月27日（火）から11月1日（日）まで垂水市文化会館ロビーに展示した。
------	---

	11月1日（日）には、たるみずジュニア美術展の授賞式を行った。新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、マスク着用で上位受賞者に絞っての授賞式で、最後に記念撮影を行った。授賞式の後、多くの参加者と話をすることができ、「初めて森の駅たるみずに来た。」、「今度は是非、森の駅に宿泊して参加したい。」など、喜びの声を聞かせてもらった。市外の受賞者の中には南さつま市からの出席があり、その母親は、偶然で久しぶりの友人との再会を喜んでいた。いろいろなところでのつながりがあるのだなと思ったところであり、短い時間でも内容のある授賞式であった。 今後も、たるみずジュニア美術展が続いていってくれたらいいなと思っている。また、絵画、図画だけでなく幼稚園生が作った粘土細工とか、小学生が作った木工作品とかそういったものも展示できたらいいなと思った。ワダコンは絵画コンクールなので兼ね合いが難しいが、「美術展」と名前を変えてやってみるのもいいかなと思ったところである。
田之上委員	県教育委員会連絡協議会について 10月26日（月）の県市町村教育委員会連絡協議会研修会及び講演会に参加させてもらった。 「特別支援教育の推進について」及び「学校における新型コロナウイルス感染症予防対策について」の研修と、「SDGs達成に向けての教育機関の役割と可能性」と題した講演が行われた。特にコロナ対策については、専門家である鹿児島大学の西教授から、その特徴や現状・対策について詳しい話を聞くことができ、有意義な会であった。 学校評議員会について（垂水小学校） 11月5日（木）に垂水小学校の学校評議員会に出席した。教育県民週間でもあったので、会議の前に校内の様子を参観させてもらい、どのクラスでも子どもたちが落ち着いて授業に集中している様子を見ることができた。5年生の音楽の授業では、楽器を使って合奏をしていた。コロナの関係で、子どもたちが歌ったり楽器を演奏するところを見る機会が少なくて寂しい思いをしていたが、クラス全員でまとまって大きな音を響かせている姿を久しぶりに見れて嬉しかった。 学校評議員会では、先生方や子どもたちから取ったアンケートに基づいて、子どもたちの学校生活や先生方の授業に対する姿勢などについて聞かせてもらった。また、今年は新聞等で垂水小学校の子どもたちの投稿など多く見られ地域住民としても楽しみにしている。
福里委員	県教育委員会連絡協議会について 10月26日（月）の県市町村教育委員会連絡協議会研修会及び講演会に参加させてもらった。 研修会では、特別支援教育の推進と学校における新型コロナウイルス感染症予防対策、講演会では鹿児島市の「そらのまち保育園」の代表の方から、SDGs（エスディーゼーズ）について、国での取組などの話を聞かせてもらった。どれも興味深い話や関心のあるもので、あっという間に終

教育長	わった感じだった。 中でも、そらのまち保育園の代表の講演で、「子どもたちが自分で考えられるようにするために先生方が気を付けていることは『ねばり強さ』である。」と言われたことがとても印象的であった。子育てや仕事において、「ねばり強く」ということはとても大変なことで、自分は楽をしてあまり心がけていないことだったので、今後気を付けたいと思った。 垂水小学校の日曜参観について 11月1日（日）は、教育県民週間に合わせて垂水小学校の日曜参観があった。1～4時間目のどこでも参観できるようになっていたが、2年生の週報で、「4時間目は子どもたちの集中力が切れるので、できれば遠慮してください。」とあったので、1時間目の音読会を参観させてもらった。たくさんさんの保護者が見守る中、子どもたちが張り切って発表する姿が見られて嬉しかった。ただ、例年なら子どもたちの学習発表会があるところを、今年はコロナの影響で練習時間が取れないということで実施されず、少し残念であった。 持久走大会の試走に思うこと 11月14日（土）は持久走大会の予定で、今はその練習をしているところであるが、試走で一生懸命走らない子どもが多いということが以前から気になっていて、自分の子どもにはいつも「練習で頑張れない人は本番でも頑張れない。」と言って送り出していたところ、垂水小学校の若い先生が、「先生は、練習で全力を出さない人は嫌いです。練習で頑張れない人は本番でも頑張れないんだよ。」と、自分が感じていたことを子どもたちの前ではっきりと言ってくれたことを子どもから聞いて、ありがたいと思ったところである。 たるみずジュニア美術展表彰式について 11月1日（日）、たるみずジュニア美術展の表彰式に出席した。ウィズコロナの時代にいろいろなことができない中で、子どもたちにとって久しぶりの表彰の場、絵を描く機会だったのではないかな。和田英作コンクールは中止せざるを得なかったが、子どもたちにこのような場を提供して下さった葛迫委員に感謝を申し上げたい。 何よりも授賞式での子どもたちの笑顔は素晴らしいものであった。子どもたちに喜びと自信を与えることができたのではないかな。南さつま市をはじめ県内各地からの参加があり、改めて、こういう機会の必要性を感じた次第である。 陸上記録会について 11月6日（金）に小学校陸上記録会を行った。雨が降り出す中での開始であったが、途中で雨も止み最後まで実施することができた。市内8小学校の6年生がこうして集うのは今年度初めてであり、子どもたちが一生懸命に取り組む姿と満足感にあふれた顔を見ながら安堵したところだ。 記録会の終了後、子どもたちに「他の小学校の子どもたちと交流ができ
-----	--

教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長 6 閉 会	たか。」と聞いたところ、9割の子どもたちが「できた」と手を挙げてくれた。小体連の陸上記録会の目的は、記録、限界への挑戦であるが、他の小学校の子どもたちとの交流も記録会の大事な目的のひとつである。 総合教育会議について 本日の総合教育会議への出席、ありがとうございました。総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会との意思疎通を図り、地域の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るために設置された会議であり、継続してやることが大事である。市長も忙しく開催期日の調整など難しいところはあるが、来年度以降もその時々テーマで話し合う機会を持っていきたい。 今回の協議題はGIGAスクール構想であったが、大きな予算を伴い、当然、費用対成果が問われるため何とかいい結果に結び付けたい。何よりも、教師が楽しく授業を行う、子どもたちが楽しく授業を受ける、そのことがベストであると考えている。一人一台のタブレットを使いながら行う授業が、楽しいと子どもたちに言ってもらえるような授業を構成する力が教師に求められる。具体的な姿は、来年度以降の学校訪問等でお見せできると思う。ぜひGIGAスクール構想のよさをその場で実感していただきたい。 4課長から10月10日から11月9日までの主な行事等の実施状況について報告するとともに、12月10日までの行事予定についてお知らせした。
---	---